

## 賛助会員募集!!

当法人は、障がいをもった方々がその人らしい生活ができる地域社会の実現に寄与できるよう適切なサービス提供を行うことや、必要なサービスを提供できる人材の育成を目的としています。これからも利用者の方々に安心・安全・安楽なサービスが提供できるよう努めてまいります。当法人の事業に理解とご厚情を賜りたく、賛助会員募集のご案内とともに会費の納入をお願い申し上げます。

賛助会員とは、NPO法人 かすみ草の活動を支え、応援する会員です。昨年度は、たくさんの方々にご賛同をいただきましてありがとうございました。

利用者の方々に楽しんでいただくための企画や職員およびヘルパーのための内部研修を企画していきたいと思っております。

会計報告をさせて頂くとともに、今後のかすみ草をよろしくお願いたします。

年会費一口 個人 : 2,000円~

団体法人 : 5,000円~

ゆうちょ銀行(9900) 〇一九 当座 0369774

特定非営利活動法人 かすみ草



## 2018 クリスマス会



2018年12月16日  
すぎのき生活圏にて70名  
ちかくの人数で盛大に行  
われました。“USA”の曲に  
あわせて、のりのりの利用  
者様でした。



### 30年度 正会員・賛助会員 会計報告

正会員会費	(個人10人)	30,000円
賛助会費	(個人45人 4団体)	305,000円
合 計		335,000円

※ 昨年度納めていただいた会費は、今年度のかすみ草事業(企画・研修など)に使わせていただきます。

### 〇 編集後記

今年は、長引く梅雨に始まり突然の猛暑、そして10月に入っても夏日が…。秋のおとずれが待たれるところ。くれぐれもご自愛ください。

ところで、かつて「かすみ草会報第1号」設立総会(平成16年4月)報告の一文に「不採算事業であっても意義を見出せばひるまずに。」と載せた覚えがあります。平成24年11月にスタートした訪問療育(いるか)は、採算度外視でスタッフの熱意はもとより他部門スタッフの総意が後押しをしてこの事業を支え、7年目を迎えました。そして、平成30年4月より児童福祉法の一部改正により、居宅訪問型児童発達支援として法定化され、これまでの活動がやっと日の目を見た想いです。(H・Y)

# かすみ草

NO.27  
2019

NPO法人 かすみ草

発行責任者: 早野 節子

〒168-0063  
東京都杉並区和泉3-22-15  
グランフェール和泉101  
TEL 03-6265-7991  
FAX 03-6265-7992

kasuniso@themis.ocn.ne.jp  
http://www.npo.kasuniso.com

### 理事長挨拶

早野 節子

7月の参院選で、お二人の重度障がい者が当選されました。そのうちのお一人、船後靖彦さんは、筋萎縮性側索硬化症(ALS)のため、移動や意思伝達すべてに介助が必要です。

「いかなる障がい・病気があっても尊厳と楽しみを持って人生を全うできる社会の実現のため、経験を政治に生かしたい」「真に当事者の立場に立った合理的配慮が実現できる障がい者政策に変えたい」とおっしゃっています。船後議員が障がい者の立場で発言し、まずは国会のバリアフリーから始めて日本全土がバリアフリーになって欲しい。そして何よりも心のバリアフリーが浸透するよう、活躍されることを期待しています。

船後さんは声に出して話すことはできないけれど、文字盤を使ってコミュニケーションをとる事ができます。文字を書いたり言葉を発する事ができなくても、伝えたいという訴えがあれば何らかの方法で気持ちを伝える事はできると思います。しかし、「伝えたいという気持ち」を表現する事が難しい方達がいいます。ご本人は言いたい事があるのに、支援者側が何を言いたいのがよく解らないため、訴えたい気持ちそのものが伝わらない。その人のたった一度の人生なのに、自分で決められることがあまりにも少ない…。これは、決めていく(思っている、悩んでいる、迷っている)のに、その気持ちが支援者に伝わらないからなのでしょう。

支援者側もただ「解らないよー」と困っているだけではないのです。表情から、目や身体の動きから、五感を使って気持ちを察してみます。それでも「これだっ!」と分かる事は少ないですね。何となく「こうかなあ? そうよね?」と思い、何回も聞いてしまいます。しつこく聞かれる方はどう感じているのでしょうか。「もう〜、早く解ってよ」でしょうか。「うるさいな〜、くたびれた、もうどっちでもいいよ」なんて投げやりになったり。それとも「頑張れ頑張れ、あきらめなさい」と思ってくれるのでしょうか?

あきらめたり、決めつけてしまったら、それで終わりです。あきらめられたり、決めつけられて暮らすのは、まっぴらごめんですよね。

特別支援学校高等部の卒業後の進路は、なぜか「就労」がイチオシです。何年か前、ある特別支援学校の校長が「就労100%を目指してます」とおっしゃっていました。18歳になったばかりの青少年が卒業と同時に「働く」ように勧められるって、一般的な事でしょうか? 私にはそうは思えません。人生はこれからです。好きなことが仕事になれたら良いし、好きなことだってじっくり探したら良い。時間はたっぷりあるのですから。

感じたこと、好きなこと、嫌いなこと、やってみたいこと、頑張りたいこと、できる限り伝えたいと思っているのでしょうか?

支援者は全力で気持ちを察する努力をしましょう。あきらめなければ、決めつけてしまわなければ、きっと道は開けると信じています。人生の時間のほとんどは、気持ちを伝え合うためにあると感じている、高齢者になった私です。



### 〇 総会報告

去る5月26日(日)、平成31年度定期総会が開催されました。議長に土井氏が選任され、平成30年度、事業報告・決算報告・監査報告と順次審議が進められ、すべて承認されました。続いて平成31年度の事業計画および予算について審議され、原案通り承認されました。